



富津市内の鮮やかな紅葉。今年も恒例の「もみじフェスタin志駒」が11月30日(日)に開催されます。

富津岬からの富士。手前は第1海堡



富津絶景①

富津市内には、素晴らしい絶景スポットがあります。こっそり一人占めせず、歓びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。

9月定例会の内容	2・3P
19年度決算審査の報告	4・5P
代表質問・個人質問	6～8P
常任委員会の視察報告	8・9P
全員協議会の内容	10・11P
トピックス・定例会予定	12P



初秋の空と富津中ドームのコントラスト

9月定例会では こんな事が決まりました!

9月定例会は、8月27日から9月17日まで開催されました。内容は、17の議案と2つの報告、1件の陳情です。17議案を大別すると、条例関係の議案5件、補正予算関係6件、決算関係6件です。

条例関係の議案5件

法律が変わると条例も変わる

- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
ややこしいタイトルですが、地方自治法に関する一部の法律が変わったため、それに関する地方自治法の条例を変えることになりました。ほとんどが語句の整備です。【全員賛成で可決】

社会のニーズに応えるために

- 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
2002年から行政改革の1つとして、国会で公益法人制度が検討され、今回の法律ができました。これにより、関係する条例の改正をすることになりました。【全員賛成で可決】

現行

○設立／主務官庁の許可が必要

社団法人 財団法人

○公益性を判断する仕組み／主務官庁の裁量

*主務官庁とは→例えば、教育事務の主務官庁は文科省である
*社団とは→人の集まり／財団とは→財産の集まり

現行の制度は明治29年につくられたもの。そのため、社会のニーズの多様化により、行政の対応も限界になっている現状。



新たな制度

○設立／登記だけで設立できる

一般社団法人 一般財団法人

*有識者の委員会で認定されると公益法人に

公益社団法人 公益財団法人

○公益性を判断する仕組み／内閣府に有識者の委員会を設置し、そこで判断される(都道府県にも国に準じた体制を整備)

現在の社団法人・財団法人は、5年以内に認定を受けないと解散したものとみなされます。



話題になった「ふるさと納税」のこと

- 富津市税条例の一部を改正する条例の制定について
主な改正は、以下の2点です。
- 寄付金税額控除の制度が、新たに創られました。
いわゆる「ふるさと納税」のことですが、当初の考えとは少し変わり、控除の上限額が低く設定されました。寄付金額の一定限度について、個人住民税や所得税が控除される制度です。

控除の 下限額	5,000円	控除の 上限額	所得割額の約1割まで
------------	--------	------------	------------

他市・他県に住んでいる富津出身者や富津が好きだと言う方に、ぜひ声をかけてください。税金の一部を好きな自治体に納めることができる制度です。
*詳しくは、富津市役所 課税課 市民税係(Tel. 80-1241)まで。

- 公的年金から個人住民税の特別徴収制度について
制度の目的は、高齢者の納税の便宜と、市の徴収の効率化です。対象者は、65歳以上で、市・県民税を納めている方です。平成21年10月分から特別徴収されます。
公的年金からの特別徴収について反対意見も出されましたが【賛成多数で可決】しました。

- 富津市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について



少子化対策の一環として、千葉県の大要領の改正により、ひとり親家庭等の受給資格者が入院した時の医療費助成金額を引き上げるための、条例の改正です。
【全員賛成で可決】

- 富津市土地開発公社定款の変更について
前述の一般・公益社団法人などの法律が施行されることに伴い、定款の一部の変更です。
【全員賛成で可決】

補正予算関係6件

今回の一般会計の補正予算は、4,444万1千円で、補正後の予算額は、163億3,444万1千円になりました。

会計の種類	補正の主な理由	補正額	審議結果
富津市一般会計	国体事業費、特別徴収制度の経費など	4,444万1千円	原案可決
富津市国民健康保険事業特別会計	後期高齢者支援金の決定に伴う増額など	2,164万1千円	原案可決
富津市老人医療特別会計	平成19年度医療給付費の精算の減額補正	△1億6,959万2千円	原案可決
富津市後期高齢者医療特別会計	人事異動に伴う人件費の減額補正	△139万2千円	原案可決
富津市介護保険事業特別会計	介護給付費の公費返還金、人件費の増額	1億659万4千円	原案可決

富津市水道事業会計

内容	補正の理由	補正額	審議結果
収益的支出	人事異動に伴う人件費などの減額補正	△202万5千円	原案可決
資本的支出	人事異動に伴う人件費などの減額補正	△102万2千円	

決算関係6件

平成19年度決算

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 水道事業会計 **【多数で認定】**
- 老人医療特別会計
- 介護保険事業特別会計 **【全員が認定】**

*詳しくは、4・5頁の決算審査特別委員会の報告を参照してください。

2つの報告



財政指標の公表

北海道夕張市の財政破綻により、新たな法律「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」がつけられるきっかけとなりました。この法律によって、市の財政状況を詳しく公表するように、義務化されました。これに基づく2つの報告がありました。 **【全員が認定】**

*詳しい内容は、10頁を参照してください。

陳情1件

陳情件名	陳情者	採択結果
自主共済制度の保険業法適用見直しを求める陳情書	共済の今日と未来を考える千葉懇話会 代表者・加藤洋男	賛成少数で不採択

平成17年の保険業法の改正により、自主共済保険団体が廃止や解散するケースが増えている現状を考えると、自主的共済団体を保険業法の適用除外とする陳情は、悪質な共済団体を助長させる可能性もあることから、**【不採択】**となりました。

各常任委員会協議会で報告のあった、主な内容です。

富津市要援護者安心ネットワーク支援計画(案)について

この計画の目的は、日常の声かけや安否確認などにより「孤独死ゼロ」を目指すものです。また災害時においても役立つよう、要援護者の支援情報を一元化し、支援ネットワークづくりを行い「安全で安心して暮らせるまち」の実現を図ろうとするものです。

微量採血用^{せんし}穿刺器具の使用状況について

平成18・19年度で実施した糖尿病予防事業で、微量採血器具を使い血糖値の測定を行いました。針は一人ずつ替えましたが、キャップはアルコール消毒して使用していましたので、万全を期すために肝炎ウイルス検査を実施しました。現時点においての検査の結果、全く問題はありませぬ。

富津市洪水ハザードマップ

富津市も洪水ハザードマップを作成します。市内の洪水や土砂崩れの想定される危険箇所を地図に示し、災害発生時に備えるためのものです。今年度中に、全体の意見を取りまとめる予定です。



しました。

決算審査特別委員会委員 (11名)

委員長	鈴木 幹雄	副委員長	藤川 正美
委員	平野 明彦	永井庄一郎	石井 志郎
	長谷川 剛	岩本 朗	松原 和江
	佐久間 勇	渡辺 務	十川 敬三



市道戸面原宇藤木線
(戸逆橋) 橋梁補修工事

価と次年度予算などへの反映を目的に決算審査を行ないます。審査の結果、6会計全てが認定されました。

審査のなかで質問のあった項目のうち、主なものをここで紹介します。

水道のこと



業務委託について

水道料金等未納徴収・開閉栓業務委託の費用効果について、水道料金の徴収率の向上など、民間委託の効果に関して説明がありました。

給水原価、供給単価について

給水原価(約291円)と供給単価(約278円)の関係について質疑がなされました。

国保のこと



特定健康指導について

平成20年度から始まった特定健康診査・特定保健指導について質問がありました。

産業振興のこと



有害鳥獣対策について

全市的に被害の拡大するなか有害鳥獣対策協議会の組織のあり方について質問があり、今後、被害地域に合わせた構成を考えているとのことでした。

中小企業資金融資対策事業について

事業資金の調達が困難な中小企業者に融資するもので融資実績は66件です。今後の融資枠については、状況を見て検討するとの回答でした。

市民福祉のこと



学童保育について

学童保育の補助金は、開設日数・人数によって変わります。それぞれのクラブは、補助金、入会金、月会費、寄付金等で運営されています。

中央病院の負担金について

平成19年度君津地区4市の負担金は、合計約16.8億円(内富津市負担金約3億円)です。中央病院全体で約1億5千万円の赤字となりましたが、大佐和分院については、約7千500万円の黒字でした。

各市の負担金=木更津市 約6.6億円
君津市 約4.9億円
袖ヶ浦市 約2.3億円

教育のこと



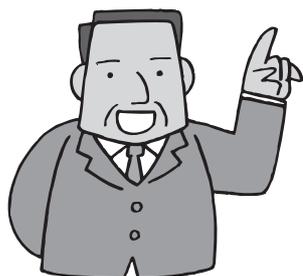
公民館、市民会館管理運営費について

各種整備、保守点検、警備、管理業務などの委託は、現在各館ごとになっているが、今後一本化していきたいとの回答でした。

給食費の滞納について

平成19年度の滞納額は約120万円でしたが、前年より減額しています。滞納整理には、2人1組で休日、夜間を問わず収納に努めています。

平成19年度の決算を審査



決算書、成果報告書、監査報告書をもとに、議会中に設置された決算審査特別委員会において、平成19年度決算の審査を行いました。富津市では一般会計のほか、3つの特別会計と2つの企業会計の計6会計があります。

議会では、監査委員が行う数字や関係書

類等の吟味・精査（監査報告書として提出）とは異なり、予算が適正に効率的に執行されたかどうか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、それをうけて、今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきであるかについて、さまざまな角度から質問することで、事業の評

平成19年度決算

(単位：万円)

会計名	予算額	決算額			
		歳入	歳出	差引額	
一般会計	1,682,959	1,656,421	1,594,062	62,359	
特別会計	国民健康保険事業	637,379	625,717	622,765	2,952
	老人医療	422,443	416,671	416,571	100
	介護保険事業	321,330	316,007	305,439	10,568
会計名	予算額	収入	支出	差引額	
企業会計	水道事業会計	153,342	146,858	147,595	▲737
	収益的収支	154,599			
	水道事業会計	27,676	28,121	61,999	▲33,878
	資本的収支	61,999			
	温泉供給事業	125	110	170	▲60
収益的収支	236				
温泉供給事業	3	0	0	0	
資本的収支	3				

※ 企業会計の予算額は上段が収入、下段が支出です。
 ※ 水道事業会計収益的収支は消費税及び地方消費税を抜いた額です。

平成19年度徴収状況

(単位：万円)

税目	調定額	収入済額	収入未済額
市民税	365,466	334,392	28,972
固定資産税	615,124	559,280	51,107
国民健康保険税	281,237	195,318	78,530
介護保険料	56,621	54,287	1,813

調定額：決定した税額等
 収入済額：納入された税金等
 収入未済額：未だ納められていない税金等



富津中学校 校舎改築事業

市役所のこと



職員数について

非常勤一般職（8時間勤務）93人、短期時間勤務（3～6時間）30人の合計123人。条例の定数（654人）に対して、正職員数は537人（平成20年4月1日現在）であり、非常勤一般職を加えても24人の減員となっています。

庁内ネットワークについて

平成16年から本庁と出先機関をKDDIの業務用光ケーブルを利用して13拠点を結び、情報の共有化を図っています。

歳入のこと



KCSの出資配当金について

KCS（かずさクリーンシステム＝4市と民間で設立したごみ焼却施設）の平成19年度の状況は、搬入量4市合計11万2,700t、収益32億4千万円、当期純利益1億9千万円でした。なお、19年度から配当金（各市900万円）を受けました。

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内(質疑応答で150分)であれば同じ
会派の人が関連質問をすることもできます。

市政4年間の総括について

問 市長の健全財政に対する考え方と今後の財政運営の見通しについて。

市長 健全財政とは①歳入歳出の収支の均衡が図れているということ。②財政構造に弾力性があること。平成19年度決算の経常収支比率は91・8%。③特別会計も含めた市の財源が健全であること。

問 今後の見通しは平成20年度以降も財源不足が予想される中で、限られた財源の確保と有効活用を図るとともに徹底した歳出の削減に努める。

問 行政コスト削減の実施状況と今後の見通しは。

総務部長 現在実施中の第二次富津市行財政改革大綱は全体で60項目あるが残り1年半で残る実施項目は4項目となっている。金額的には平成16年度9779万8千円に始まり19年度は2億7489万円余りで合計7億91万6千円のコスト削減となっている。

問 今年4月に施行された地方財政健全化法はその判断比率に関して注意深く監視して行く必要があるが、施行に伴う判断比率の市民への公表方法は。

企財部長 「広報ふつつ」や市の



渡辺 務 議員

ホームページに掲載して周知を図る。

問 少子化と子育て支援について市長の考え方は。

市長 この問題は市の最重要課題の一つとの認識から対策を講じる。基本は次世代育成支援行動計画「いいじゃないか!ふつつ」を検証し継続的かつ着実に実行していく。**問** 市長の考える「市民と行政との協働」とは。

市長 地域の特性を生かしたまちづくりを進める上で、行政のみならず市民や企業などすべての人たちがよきパートナーとして一緒に仕事ができるように話し合いお互いの信頼関係を築くことが必要だと考える。



富津市次世代育成支援行動計画
いいじゃないかふつつ

今後の展望について

問 様々な計画が集約されつつある市庁舎周辺のまちづくり、古墳を活かしたまちづくりについて。

市長 本市を取り巻く環境の変わる中、文化遺産に恵まれた地域特性等の情報を発信しながら、道路交通網整備、駅や商店街、公共施設を結ぶ公共交通体系の見直し等総合的なまちづくりを行いたい。

問 市役所周辺の道路整備は。

建設部長 市役所前道路は県から歩道設置の報告があった。千種新田篠部境線は、重点整備要望事業として県に要望している。

問 庁舎周辺の公共交通のありかたについて、どう考えるのか。

企財部長 路線形態の見直しや津駅との連携を協議したい。

問 地域のことを地域の人に考えてもらうことが自分達のまちを好きになってもらう方策の一つ。地域の宝物を見つけ地域の切り口にするのが、特色ある地域づくり。内裏塚古墳群の現況について。

教育部長 47基確認。墳丘部現存25基。一部発掘36基。未発掘11基多くは未整備な状況。

問 古墳の周囲で住宅開発計画は。

教育部長 全部で7件。

問 北笹塚線の延長に西谷古墳が



平野 明彦 議員

あるが、道路整備での取扱いは。**教育部長** 道路計画は20年前からあり、別の場所に現物保存等することを検討していきたい。

問 古墳に対する教育部の見解は。**教育部長** 内裏塚古墳群は全国的にも有数の古墳群。後世のためにできる限り生かして、残していくよう努めなければならぬ。

問 古墳の整備計画も必要では。**教育部長** 保存活用整備計画は、関係機関・部局と協議したい。

問 地域の宝物を見つけ磨くことが重要。そうした思いを込めて、市長の2期目の決意を。

市長 発想の転換も必要。よりよい富津市づくりに邁進したい。



史跡情報板

観光・農林水産業の振興、浅間山周辺開発



永井庄一郎
議員

問 観光はお客様に来ていただくことが第一である。来訪客数の状況と今まで取り組んで来た各種観光施策の結果について。

市長 観光客入込み数は平成19年度は263万人である。今年は、やや減少傾向だが、海水浴客は増加している。各種観光施策として特産品を活用した商品開発を行い飲食店へのお客は増えている。

問 ガソリンの高騰により首都圏から近場の行楽が見直されているが、市の見方は。

経環部長 富津市は東京に近い。いかに効果的なPRができるかを探っていききたい。

問 新たな事業である観光地域プロデューサーの取り組み状況は。

経環部長 全国で5箇所実施。その中で金谷地域が認定された。房州石を活用した地域住民主体による特色ある観光地域づくりを推進し金谷地域の振興を図るもの。

問 魅力ある農林水産業と活性を取り戻すための振興策について。
市長 いかに就農意識の向上を図るか、事業経営の向上を図れるかにより魅力ある農林水産業の振興がなされると思う。耕作放棄地解消と就農意識の向上を目指す。



観光地域プロデューサー事業(石の刻道)金谷の資源を活用した石のモニュメント23体が設置されている。

漁港の整備を進め漁獲の向上と漁業経営の安定に努め漁業後継者の育成を図っている。

問 原油高騰に伴う漁業者支援について。

経環部長 水産庁で燃油高騰水産業緊急対策事業が創設された。他の助成制度は、県で検討中。

問 市としての浅間山砂利採取跡地の利用構想について。

市長 基本構想では、内陸工業ゾーンとして位置づけている。土地利用の検討をして来たが具体化には至らなかった。今後も検討する。

問 浅間山周辺に高速バスステーションやバスストップの設置は。

市長 周辺の土地利用計画などと併せ検討していききたい。

金谷・相川などの残土埋立てについて



松原 和江
議員

問 市内の残土埋立て状況は。

市長 市の許可数(3000㎡未満500㎡以上)は、平成17年度から20年6月まで58件。県の許可数(3,000㎡以上)は3件。

問 市が許可した場所には、どこから残土を持ってきたか。

経環部長 県内から19・7%、東京都と神奈川県から80・3%。

問 県が許可する大型の残土埋立計画は、知った時点で、議会に知らせたいか。

経環部長 今後検討してみたい。

問 金谷の残土埋立てについて、今までと、これからの市の対応は。

市長 平成19年に事業者から地元説明会がされ、その後、金谷住民の90%近い反対署名と不許可を求める陳情書が県と市に提出された。許可された後に、許可の撤回を求める要望書が市議会議長及び市長あてに提出された。このような状況から県に対し、当該許可に賛成できないこと。許可条件である地元の理解を得た上で、協定が結ばれない限り、残土を搬入させないこと。木更津港湾事務所が管理する港湾施設での残土荷揚げをさせないよう強く要請してきた。

問 これからも、そのことを貫く

と理解してよいか。

市長 そのとおりです。

問 林道の許可を業者はあきらめていない、市は最後まで地元への反対の立場を守るか。

経環部長 地元が了解しない限り林道許可は出さない。

問 相川の残土埋立てについて、県から入手した資料によると、市は相川・竹岡間の市道の使用承諾書を出しているが、本当か。

建設部長 使用承諾書の提出はしていない。

問 市が同意することが、相川の残土埋立てを許可する条件の一つか。

建設部長 民間の方と同じ、市も土地権利者で、同じです。



金谷地区残土埋立て計画地に最も近い民家まで700m金谷漁港まで約1,500m

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

◆ 個人質問

富津市の水道料金は高いか

問 富津市の水道料金は高いか。
市長 施設整備に資本投下が多くかかっている割には、使用水量が少ないなど、施設利用効果が低くなっているため、近隣市と比較して料金は高くなっている。
問 小久保ダムを造った必要性和その建設経費は。
水道者 企業団と上水道専用ダムの複数の水源で安定的供給をするため。事業費は24億7千8百万円。
問 このダムは現在も充分活用されているか。
水道者 日量1万トンで使用できるが、現在はその3分の1程度。
問 富津市の水道水は地下水、ダム水、企業団からの水だが、その割合は。
水道者 平成19年度の実績で地下水23%、小久保ダム水14%、企業団水63%。
問 近隣市の水道料金の比較は。
水道者 一般的な口径13ミリ、二カ月の使用水量が35トンで比較すると木更津市7113円、君津市6457円、袖ヶ浦市5565円、館山市6426円、富津市が7087円で木更津市に次いで高い料金となっている。



正面の水道部の建物は昭和48年に竣工。手前左の亀田送水ポンプ場は昭和56年に完成している。

使うほど単価が高くなることを知った。認識不足だった。内容が変わるが、近隣市の水道開栓・閉栓料金は。
水道者 木更津市は開栓手数料のみで500円。君津市は開栓・閉栓が各525円、袖ヶ浦市も各500円、館山市は開栓手数料のみで2千円。富津市は開栓・閉栓が各千五百円。
問 他の自治体の水道局は、率直に市民に対し水道事業の大変さを公表しているが、富津市は。
水道者 水道、たよりを年1回発行し、その他、市のホームページや広報誌で周知を行っているが、今後、よりわかりやすい情報提供をしていきたい。



藤川 正美 議員

行政視察 総務常任委員会

7月29日(火)～31日(木)、総務常任委員会は地域公共交通システムの構築、地震防災対策、地域サービス向上プロジェクトについて、先進地である三重県松阪市/尾鷲市/鳥羽市へ視察に行き、各視察項目の取組みの内容を学んできました。



委員長 長谷川 剛
副委員長 岩本 朗
委員 鈴木 敏雄
委員 竹内 洋
委員 鈴木 幹雄
委員 永井庄一郎
委員 岩崎 剛久
委員 十川 敬三

・地域公共交通システム構築プログラムについて (松阪市)人口/171,320人
松阪市は市民ニーズに対応し、市民・公の組織・学識経験者等で構成する「松阪市地域公共交通協議会」を設置して、各種公共交通手段について調査研究を行っている。協議会設置規則や財務規定を作成し、国からの補助金や「自分達のバス」といった認識を持って頂く為、協賛金として1世帯800円/年を頂いたり、企業や病院からの協賛を行っている。

・地震防災対策について (鳥羽市)人口/23,067人
地震対策及び津波対策の現況と取り組みの中から、自主防災組織の組織化が積極的に進められている。また、防災意識の啓発と共に耐震補強工事に伴う耐震診断の無料化、鳥羽市では年間の観光入込客数が、500万人と多い中、防災関係の備蓄については備蓄が出来ていないの現状であり、観光事業者での準備をお願いしている。

・地域サービス向上プロジェクトについて (尾鷲市)人口/21,993人
尾鷲市は、総面積の90%が山林であり、10集落が点在することから住民票等のサービスが受けにくいことから、地域イントラネットの整備を進めサービス向上を図っている。防災情報システムとして、地区公民館、庁内ネットワークを利用し、雨量情報を収集し市民の方に警戒を促している。

●視察の感想

少子高齢化が進む中、公共交通については今後重要なものになってきます。住民ニーズを把握した上での交通システムを構築する為、協議会等の設置が必要になる事を感じました。

地震防災対策として、観光地における避難計画や体制作りができるマニュアル「観光地における避難対策検討マニュアル」について、富津市においても今後検討が必要と考えます。



鳥羽市で構築中の地震防災対策設備

行政視察 教育福祉常任委員会

10月8日（水）～10日（金）、教育福祉常任委員会は保健・医療・福祉の複合施設、地域医療の再生、教育環境へのクリック募金、市民協働のユニバーサル市民図書館など、先進地である北海道長沼町／夕張市／札幌市／石狩市へ視察に行き、各視察項目の取組みについて研修してきました。



委員長 澤田 春江
副委員長 藤川 正美
委員 高梨 良勝
委員 三平 正昭
委員 平野 明彦
委員 松原 和江
委員 佐久間 勇



水中ウォーキングで膝・腰を健康に！
長沼町総合保健福祉センター「りふれ」にて

- ・保健・医療・福祉の複合施設について（長沼町）人口／12,291人
町民の福祉と健康増進を目指した「りふれ」という施設を視察。住民基本カードで容易に入館でき、インストラクター指導のもと歩くプールやスポーツジムなど町民同士が触れ合いリフレッシュする憩いの場となっています。
- ・地域医療の再生について（夕張市）人口／11,923人
財政破綻した夕張市から指定管理（委託金0）を受けた「夕張希望の杜」（村上智彦理事長）により、市民医療センターとして171床あった総合病院を19床の診療所と40床の老人保健施設で運営、施設機器老朽の中、再生に取り組んでいます。
- ・教育環境へのクリック募金について（札幌市）人口／1,898,027人
インターネットを使って環境に取り組む企業から、ワンクリック募金の協賛を得、その収益を児童の環境教育に役立てるといったもの。環境への意識高揚と教育整備というプラスの相乗効果をあげています。
- ・市民協働のユニバーサル市民図書館について（石狩市）人口／61,319人
「図書館の中に街をつくらう」をコンセプトに、市民に使いやすいふれあいの場としての市民図書館を市の職員で運営しています。

●視察の感想

広大な北海道ゆえ人口密度に格差があります。炭鉱に依存して出来た街の破綻、教育福祉に力を注いでいる街、行政経営するための財政確保がいかに難しいか、財力の違いが市民生活にどれだけ影響を及ぼすのか、富津市においても今後の参考になると考えます。

行政視察 建設経済常任委員会

10月21日（火）～23日（木）、建設経済常任委員会は水俣市環境方針について、中心市街地活性化事業、バイオスタウン構想について、先進地である熊本県水俣市／鹿児島県鹿屋市／志布志市へ視察に行き、各視察項目の取組みの内容を学んできました。



委員長 石井 志郎
副委員長 渡辺 務
委員 高橋 謙治
委員 平野 良一
委員 小林 新一
委員 福原 敏夫
委員 大野 裕二



志布志市の廃木材と焼酎廃液を利用したバイオマス施設

- ・水俣市環境方針について（水俣市）人口／28,622人
現在もなお、公害病という負の遺産を抱えながら、そのイメージの払拭とそれを乗り越える取り組みとして「環境モデル都市」を宣言。市民の理解と協力を仰ぎながら環境都市をめざしています。
- ・中心市街地活性化事業について（鹿屋市）人口／105,127人
少子高齢化による人口減と市の中心市街地の空洞化が進む中で、市の中心地としての拠点づくりとして商業施設と市の保険福祉施設、文化振興、学習施設をあわせ持った複合交流拠点の形成に取り組んできました。
- ・バイオスタウン構想について（志布志市）人口／31,770人
市独自のゴミ焼却施設がないという状況の中で、ゴミを減らす工夫からスタート。市民との協働を進めながらバイオスタウン構想をまとめそれに対する取り組みを行っています。

●視察の感想

今回の視察では、環境についてはそれぞれの市が一樣に市民の理解と協力を得て、またその必要性から環境問題に取り組んでいました。それは決して難しい取り組みではなく、例えばゴミの分別収集の細分化と徹底など、身近な事への試みから始まりました。富津市も二酸化炭素排出削減の流れの中で、可能なことから取り組みが必要だと実感しました。



生ごみ等の廃棄物を堆肥としてひまわりを育て、オイルや石鹼に加工

全員協議会からの報告

○ 平成19年度決算に基づく財政健全化判断比率について

地方公共団体の財政破綻を防ぐため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。この法律では、従来よりも早期に財政の健全化に取り組む姿勢が新たに定められました。これまでのように普通会計の赤字のみに着目するのではなく、公営事業・企業会計を連結させた赤字や一部事務組合、土地開発公社などの関連団体に対する将来の負担などを考慮した4つの財政指標により、多角的な視点から財政状況を捉えることとされています。

	0%	健全団体	早期健全化基準	早期健全団体	財政再生団体
実質赤字比率	0%			13.14%	
連結実質赤字比率	0%			18.14%	
実質公債費比率 (3カ年平均)		13.3%		25.0%	
将来負担比率		157.2%		350.0%	

※ 指標の説明

実質赤字比率とは、一般会計等(福祉・教育・街づくり)の赤字額の程度をあらわします。連結実質赤字比率とは、すべての(国保・老人・介護・水道・温泉)会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度をあらわします。

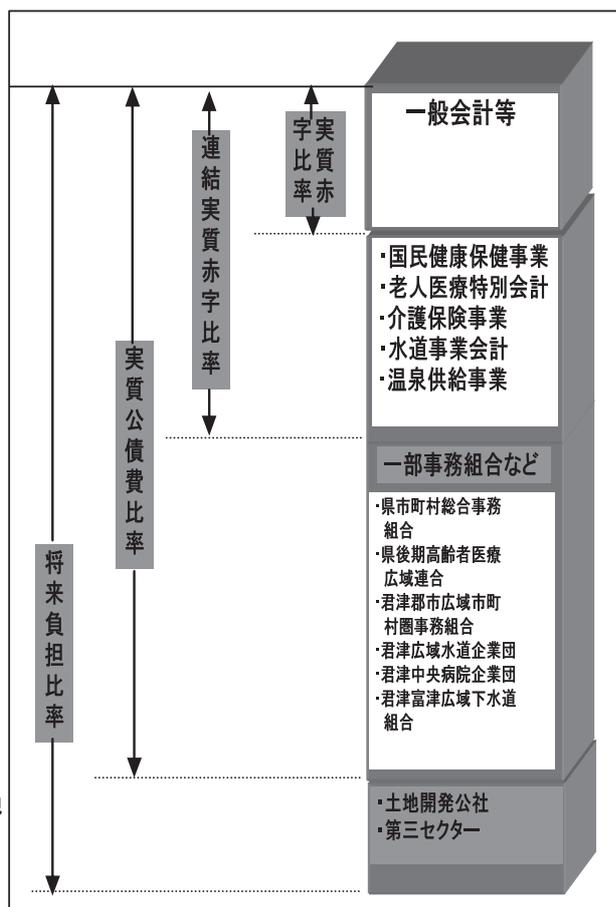
家計に例えると …… 年収に占める赤字額の割合となります。

実質公債費比率とは、借入金の返済およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示します。

家計に例えると …… 年収に占めるローン返済額の割合となります。

将来負担比率とは、一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。

家計に例えると …… 将来において、返済や支払いが必要となる金額(ローン残高等)の、年収に対する割合となります。



○ 富津市小中学校統廃合等に関する提言書の報告について

市民公募、区長、保護者、小中学校長、市議会議員の代表からなる「富津市小中学校統廃合等検討懇談会」より、児童・生徒数の減少に応じた学校の適正な規模・配置等についての取りまとめ報告書が教育委員会に提出されました。

(具体例)

	小学校	中学校
適正規模	各学年1学級以上、1学級20人以上	各学年2学級以上、各学級30人以上
通学距離	8キロメートル程度	15キロメートル程度

(子供たちに、より充実した教育環境を提供するという基本姿勢で検討)

○ 君津中央病院にドクターヘリの導入が決定



現在北総病院に配備されているドクターヘリ

千葉県内主要病院との連携



千葉県には日本医科大学千葉北総病院（印旛村）にドクターヘリが配備されていますが、県南部地域はドクターヘリの有効圏と言われる50km圏域からはずれています。

救命率の向上をめざし2機目の導入を考えた県は、平成20年度当初予算に運営補助予算を計上し、救命救急センターを有する亀田総合病院と君津中央病院を候補病院として、検討してきましたが、この度君津中央病院に導入が決定しました。

○ 金谷地区の残土埋め立て計画の状況について

金谷地区の残土埋め立て計画の状況について株トシマが県に埋め立てを申請、今年5月末に地元住民との協定の締結に努めることなどを条件に許可をされた埋め立て事業は、地下水汚染の不安や水産資源、観光への影響を心配する地元住民の方々から許可撤回を求める署名と要望が出ています。市も県知事宛に地元の理解を得て協定締結がなされない限り土砂を搬入させないよう強く要請しました。



×印が計画予定地



今回計画されている同地区で、過去に行なわれた残土処分地

Topics

話題

君津・富津 うまいものまつり



10月4日(土)5日(日)マザー牧場で開催された「君津・富津うまいものまつり」、はかりめ丼やアサリのみそ汁を無料配布し、ふつつの観光PRを行いました。

富津市ふれあいスポーツフェスタ



富津市ふれあいスポーツフェスタ
今年は10月12日(日)総合社会体育館を中心として開催され、1000名近くの市民が参加。楽しく秋の一日をすごしました。



防衛大臣就任 おめでとう!

麻生内閣で初入閣を果たした浜田防衛大臣のもとへ、4市の市長・正副議長がお祝いに駆けつけました。大臣室は総勢20名程の座れるテーブルのある広い部屋でした。

およっちょい祭り



甲州市およっちょい祭り
富津市と友好都市関係にある甲州市で10月19日(日)およっちょい祭りが開かれました。富津産のアサリ入り味噌汁を地元の方たちに無料配布しました。

防災訓練



8月31日(日)佐貫小で防災訓練を実施。いつ起こるか分からない地震に対し、日頃から対応を考えて被害を最小限に!

朝夕めつきり涼しくなり家の柿の木にタワワに実る柿の実と裏山のハゼの葉の色づきに秋の深まりを感じるこの頃です。
少し世の中に目を向けて見ると殺人、詐欺、偽装、年金、医療など、本当に多くの問題が人間の社会には起こるものだとつくづく思います。私達は何げなく毎日生きています。あつたためて考えて見ると、社会から信用、信頼が全く無くなっている状況にある事に誰もが気づくはずですが。
私達は、人と人との心の絆を第一とし、誰もが安心して暮らせる信用と信頼あふれる社会を一日も早く回復させなくてはならないと思います。
(みきお)

【編集後記】

*日程は変更になることがありますので、議会事務局まで、お問い合わせ下さい。

- 19日(金) 10時 議案審議 閉会
- 17日(水) 常任委員会
- 16日(火) 常任委員会
- 15日(月) 常任委員会
- 11日(木) 10時 議案質疑
- 10日(水) 予備日
- 9日(火) 9時30分 一般質問
- 8日(月) 9時30分 一般質問
- 3日(水) 10時 開会 議案の上程

ぜひ、議会傍聴に! 12月定例会日程